

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー情報

登録番号	第 425 号 かせき くらんど
氏名	可世木 蔵人
所属先 名称	安房獣医師会
役職	
専門分野	獣害対策(イノシシ)
対応可能地域	千葉県
その他	
活動履歴	
2004年8月～	ぼうそう農業協同組合理事として、水稲共済組合に提出された水稲被害申告について鳥獣害圃場の検見に立ち会い、安房地区及び君津地区のイノシシ被害を見た。
2005年	安房地区で鳥獣被害が多発したため、地域行政、普及及び研究機関で組織される安房地区有害鳥獣担当者会議において、技術雇用として鳥獣被害対策の指導に当たる。安房農林事務所の紹介により農林水産省主催平成17年度農作物鳥獣害防止対策研修会に出席。
2006年	県内のイノシシの捕獲頭数を調査した結果、箱ワナ・くくりワナ設置による捕獲効果があったものの、大きな頭数減少には至っていないことが判明した。また、最近では成イノシシが学習して箱ワナには入らなくなり幼獣のうり坊が多く入るようになっている状況が明らかとなった。
2007年	平成19年度国庫事業(公募型)の鳥獣害防止対策事業地域連携ネットワーク事業の代表の一人となる。事業実績として、鳥獣害対策の充実・強化を図るため、有害獣の捕獲体制の整備を推進するとともに、被害の発生していない周辺地域等との連携を通じた被害防止対策を構築した。イノシシの未侵入地への侵入経路としてトンネル上を通過することに着目し、南房総市と館山市との連携により地域住民の理解と取組を支援することを提案し、被害拡大を遮断するためのトンネル上防護柵の設置を指導した。
2008年～ 2009年	平成19年度に設置したトンネル上防護柵は、2頭ほど越えたものが出てきたものの、侵入防止効果が認められた。
2012年	安房地域野生鳥獣対策連絡会議及び同会議主催のイノシシ対策現地検討会において指導・助言をした。また、南房総市千倉町大貫地区で集落を対象にイノシシ対策の講演をした。その他、県農業事務所等と連携して現地調査を断続的に実施した。